

# ありが隊新聞



令和6年11月  
第139号  
編集:加藤真由美

## ◇食に関して

今月は十一月十六日の秘境駅号イベントと、二十一日には村内向けにと、東京農大の農村調査部とのコラボ弁当「南信州まるごと弁当」を作らせていただきました。前回のお弁当とは食材の変更があり献立を組み直し、今回も伝統野菜を、今だんに使ったお弁当になりました。今回も望月隊員はじめ協議会の皆様には伝統野菜、村の食材を集めてくださって、いろいろとご協力、このような機会を頂きありがとうございます。十六日は同じメニューを和知野川キャンプ場のわちかふえでもワンプレートとして提供もさせて頂いたとき、飯田からいらしたお客様が伝統野菜の多さとおいしさを楽しんでいかれました。今後不定期になるかと思いますが村の皆さんにも食していただける機会を作りたいと思います。



## ◇食に関して②

十一月十日に行われた、ありが隊OGの前田美沙さんの結婚式にてお手伝いさせていただきました。中井侍茶の後継者でもある美沙さん。中井侍地区の皆さんが中心となって集会所での結婚式で、お食事も地区の方や村の方々の手作りの盛り合わせの一皿。私も何品か提供させていただきました。改めて、村の良さを感じ、とってもアットホームな素敵な式に携わらせてもらって幸せも分けていただきました。美沙さん・やすしさんおめでとうございます。末永くお幸せに。



## 加藤まゆみ



◇おきよめの湯三〇周年イベント村のお祭りの方々の演舞の後、三年ぶりに彩颯(いろは)での演奏にて参加させていただきました。鹿兒島の知人・石川から教え子が駆けつけてくれて奄美島唄を交え、私は和太鼓・篠笛の担当で七曲(三〇分程度)の演奏。多くの村の方観に来てくださって、とても緊張しましたが、楽しかったです。

◇その他先日の文化祭に向けて小学三・四年生へ太鼓の指導をさせていただきました。指導というより子供たちに私が元気をもらった時間でした。本番も楽しく演奏できてよかったです。



\*写真が多くてごめんなさい

山粧う天龍。今年はとくに赤や黄色のコントラストが美しく感じます。文化祭、秋の飯田線秘境駅号運転も終わり、イベントが落ち着き冬支度へ。そんな時節、我が家には新たなとってもかわいいう主人さん、【鶏】がやってきました、日々にぎやか。飼いはじめて初めてその生態を知り、多頭飼育やゲージ飼いの鶏や卵をすすんで食べることは出来なくなりました。興味のある方は鶏肉や卵の出荷実態について検索し調べてみてください。

えさは自家野菜や穀物で育てます。

● ていざなす

ワタシは岡山のお品よ



ていざなすは十一月上旬に今シーズンの出荷を終えました。無農薬、化成肥料使用減、有機液肥・自然農薬使用で栽培した今季。伝統野菜協議会発足、イベント企画出店、農大生実習等栽培管理以外に多岐の仕事があったことも影響し、前年に比べ収穫量は千二百本ほど少なかったですが、大きな被害は無く、今後の土づくりのためには必要十分だったと思います。圃場周辺の住民のみならず、ていざなすを買っていただいた方、有難うございました。来年も天龍村でこそ育まれ愛される「ていざなす」を多くの方にお召し上がりいただけるよう、組合員の先輩方とともに、栽培・普及に努めます。

● 十久保南蛮

十久保南蛮は組合全体で三百キロ以上の収穫があり、加工品用に出荷できました。初めての組合運営で行き届かない部分もあったかと思いますがおかげさまで一年を終えられそうです。



また、東京農大農村調査部の「十久保南蛮と天龍村」をテーマとした三月から始まった実習が先日の報告会をもって終了しました。受け入れのきっかけとなり、在来種や食、地域の農業について重要な問題提起とご指導いただきました板倉貴樹さん、施設や公用車等を貸していただきました役場様、交流や食材提供していただきました生産者の皆様、ほかご協力いただきました皆さまへ感謝申し上げます。私の所感も次号にて。



活動報告のパネル展示  
なんでも館にて開催中  
見に来てね～

## 於保樹の活動報告

### 地域交流

無事、おきよめの湯30周年イベントを終えることができました。前日からステージ準備などして頂いた向方地区や役場の方々。平日にも関わらず参加して頂いた坂部や平岡地区、遠方から足を運んだ頂いた関係人口の方々のおかげです。ありがとうございます！用意していた観客席では収まらないうらいのお客さんがいたので嬉しかったですね！

### 林業

11月に地拵えをしました。初めての作業で要領がわからず作業が捗らなかつたです。「植林する身になってやるんだよ」と言われましたが植林の経験もなくよくわからなかつたです。良い経験でした！同じく11月から除伐の作業が始まりました。全て草刈り機での作業ですが、刃が研げないと始まらない。下草刈りとは違い、大小様々ですが木もきらないといけないので、つるの有無や切る順番、足取りなど考えることが沢山あり難しいです。ただ、やはり外で汗水流しての作業が楽しくて気持ち良いです！！

### 農業

地区の方の協力のおかげでなんとかエゴマや稲の脱穀を終えました！新米を食べるのが楽しみです。干し柿の要望があったので時間を見つけて干し柿作り。夜なべ頑張りました。今年毎日観察できるので去年より良いものを作りたいです！



干し柿



除伐



地拵え



三つ舞の様子